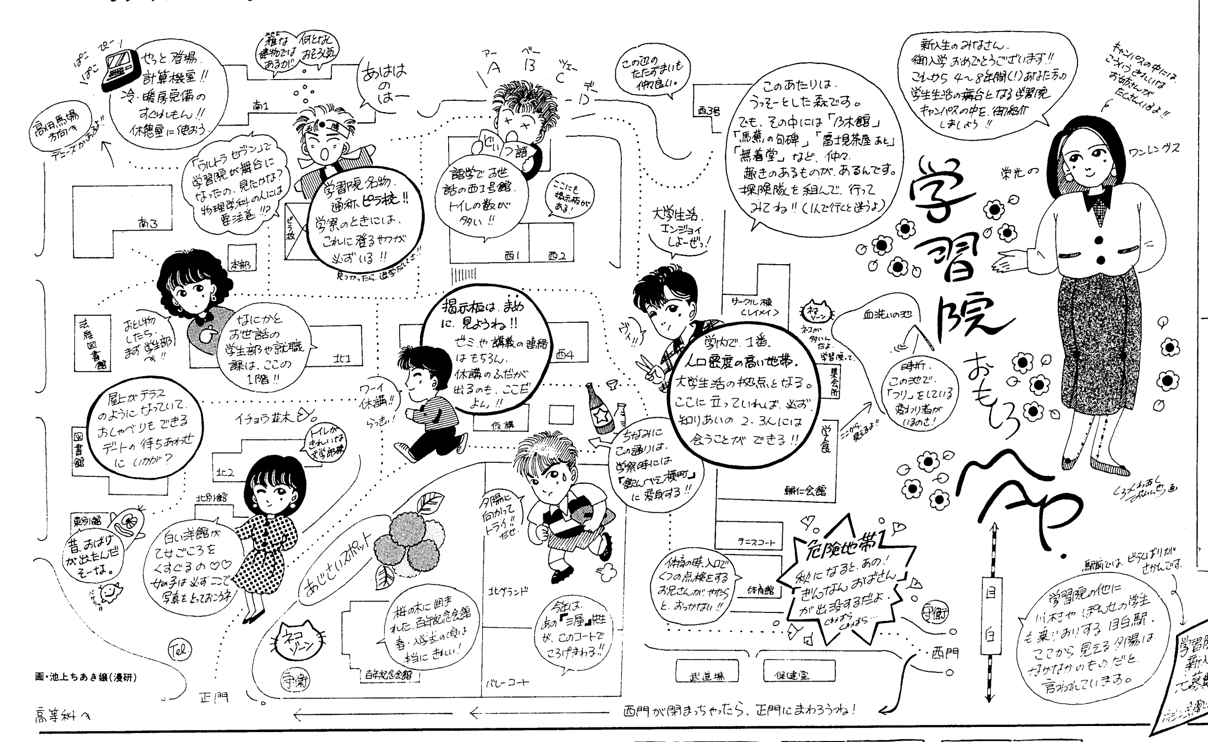
―新入生歓迎号―　入学おめでとう

学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白
1丁目5番1号
電話（986）0221内線607
発行・編集責任者
明比　順一郎
年間200円

紙面紹介
本号四面

■君も狙われている ―2原理研・悪徳商法（二面）（四面）
■■学内フラッシュ
本紙講演会報告（三、四面）
「現代の風俗とマス・イメージ」



画・池上ちあき嬢（漫研）

目白商店街には、カメラ屋の奥におせんべい屋さんが同居しているというわけのわからない構造のお店があります。私は4年間ずっと不思議に思っています。―筆者―

★邑まさ（むらまさ）
2～4人で、ちょっとリッチに飲むなら、ここ。焼魚がおいしい。お店のお兄さんもやたらと明るい。

★鳥八（とりはち）
2階には座敷もある。コンパ、大勢いに飽きたら行ってみよう。冬にはなべ物もある。

★B-girl
目白の商店街を抜けて、てくてく歩く。ファミリーマートの2階で古道具屋と一緒になっている。B.G.Mが70年代のロックなんかがたまらない!!。夜はパブに変身する。ちょっと遠いのが難点。

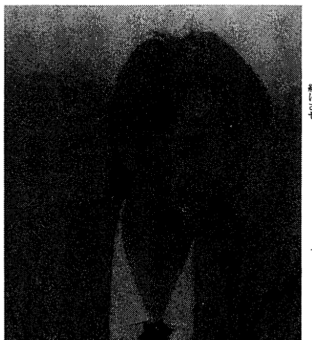
★ルカン：男子学生御用達。ランチで600円。とにかく量が多い。
★丸長：お店は狭いが、つけそば（450円）には迫力がある。（メチャ辛い…!!）
★大都会：ランチ600円。味もまあまあで、ライスのおかわりがタダだから、男の子も満足できる。夜は、普通のレストランになる。

★ポルピ
国電の線路沿いにある東洋一うまいスパゲティを食べさせるお店。平たい、きしめんみたいな「パスタII」のシリーズがおすすめ品。夏場にはスパゲティ・サラダもおいしい。

★ボルドー
正門から行ける、一番近い喫茶店。BUS STOPの横にあるのが、しゃれている。ケーキの種類も多くて、ランチセットにも、ワインゼリーがつく。

★ル・プティ・ニ・2
落ち着いた雰囲気で美味しいコーヒーが飲める。ここのケーキ、種類は少ないけれど、最高!! 英国風ティータイムを決めるなら、スコーンもある。ちなみに1号店は高田馬場にある。

目白ではこんなお店が㊛印



顔・かお

三屋　裕子

バレーボールを還元したい

今月一日付で本学体育助手。バレーボールを月水金の三時間、週九時間受け持つ。鈴木正三教授の退官に伴ない国学院高校から本学へ。大学で教師という自分の勉強をしたい、という。

元全日本女子バレーのエース。ロス五輪を最終目標にまとまった休みは年間五日という生活にピリオドを打ったのが半年前。五輪後の虚脱感を埋めるには、中学からの夢である教師になることだった。

個性の強い選手が集まった全日本の中で主力なポジションにいることは、仲間に迷惑をかけることがないよう自分自身をバレーボールにすることだった。食事も起床、就寝もバレーボールのために。気分転換は食事とあとは仲間とバカをやることだけ。バレーボールを中心に生活が回り、それが苦痛じゃなくなる程に自分をコントロールし集中できた時にバレーボールと同化していた。

福井県勝山市の中学で一年生からバレーボールを始めた。勝った時の嬉しさはその後もバレーを続けさせた。八王子実践からスカウトがきて両親と揉めた。が将来は学校の先生に、という漠然とした想いを秘めて上京。筑波大、日立製作所を経て国学院高校。今後はバレーボールを還元していく。

授業では楽しくなければならない。ラリーが続く中で、バレーボールを分かってもらう。早くゲーム形式の授業にして、次第に高度な技術を学んでもらいたい。大学生は自分の立場を弁まえられるようになっているはず、ワクにはめずに個人個人の自主性を発揮させていきたい。

現在は自炊。得意な料理は煮物、和食が好き。初恋は中三、奥手だった。相手は違う中学のバレーボールのエース。当時一七五㌢の自分より背が大きくて、そしてカッコよかった。でも話しかけもせず秘かに応援していただけ。彼は多分知らなかったはず。

お酒は練習で疲れてピリピリして眠れない時だけ飲んでいた。お酒は今でも弱い。コンパに誘われたら体が続く限りお受けします。サインは求められてもしない。写真は自分も楽しんで撮られたい。初めての長い休みには、プライベートな旅行を。いつまでも「バレーの三屋」は通用しないし、そうでありたい。

（文　じゅん）

明窓浄机

糸井重里が若者世代を指して「チクワ」と呼んでいる。形はあるが中身がない「フワフワした」捉えどころのない世代という意味らしい。確かに物事に対するこだわりや、確固たる信念といったものが希薄ではある。「男の家庭科」というTV番組がある。そこでは男女の役割分担、従来の性別分業という概念にこだわりなく、新しい労働観、家事労働観を作ろうとしている今の家庭が描かれている▼これまで物事の価値軸は、定位置を保持し続けていた。その軸を超えれば、次の軸に移ることが必要であった。ところが、定位置を保つということの意味が薄れてきて、その間隙に興味を示しているのが現代社会であり、それは経済に顕著になった。電算機間にネットワークを作るVANや経済のサービス化というのがそれだ▼レジャーでも東京ディズニーランドは、マシンとマシンの空間をパレードやショーで埋めて新しい。ものと、ものとの境界が重要さを増すようになったと言えるのではないか。つまり境界、スキ間だ▼チクワはスキ間があってチクワだ。私達がスキ間に敏感で、スキ間に当たる概念をたくさん持ち、それを秘めているからこそチクワと呼ばれるのではないだろうか。私達は、無意識の時代性としてそれらスキ間を縮合し、構成しているのだと言えないだろうか▼それは、スキ間という継ながりによって世界を覆えるように思える。チクワを開らけば新しい形を生むように、スキ間をついうっかり開らいてしまうことで、新しい概念を作れるように思えてならない。

【同学社版】矢儀・西田・土屋・根本・有村・恒吉共編
新修ドイツ語辞典
新書判一四一八頁・定価三二〇〇円
―最も使い易くて高水準の独和辞典!!
新たにシノニム（同意語）を加え独作・読解に至便―
一、生きた現代ドイツ語を中心に五万余語を収載
二、発音はカナ表記と音標記号併用、親しみ易い
三、訳語毎に句例文例極めて豊富、訳は現代語
四、付録に理工学用語・和独・日常会話・文法篇
英語からドイツ語に入る人に絶好の学習辞典
付録和独付!
「ドイツ語の先生方から寄せられた感想集」進呈
〒112 東京都文京区水道1－10－7　同学社　振替東京5-166920　☎(816)7011(代)

第三書房
ドイツ基本語活用辞典
■早川東三・幸田薫 訳編　定価二二〇〇円　B小型　六〇六頁
ドイツ語学習の際に必要不可欠な語い三〇〇〇語を収録。
主要外来ドイツ語小辞典
■岸純一・満足忍 共編　定価二五〇〇円　B小型　四二二頁
見出し語三〇〇〇語、訳語、ドイツ語による説明、語源を付す。
フランス文法入門ハンドブック
■野村二郎 著　定価一五〇〇円　B6縦長判　二色刷　一八〇頁
使いやすさ、読みやすさを第一に考えた品詞別編集の入門参考書!
ひとりで学ぶ フランス語会話ハンドブック
■安田悦子 著　定価一八〇〇円　B6縦長判　二色刷　三〇〇頁
日常生活場面に即した表現を豊富にとり入れた会話練習に好適な書。
〒101 東京都千代田区猿楽町2－8－5　☎(03)293-7531　振替　東京0-133990

鴻上尚史の戯曲 核戦争3部作
●世紀末元年。ついに僕らは語りはじめた。
続◉刊 第3戯曲集 プラスチックの白夜に踊れば
第1戯曲集 朝日のような夕日をつれて ◉1200円
第2戯曲集 宇宙で眠るための方法について ◉1200円

〒116 東京都荒川区西日暮里4-26-14　☎03(828)2291　弓立社
伊藤比呂美 感情線
のびた
生きている猫を抱くマンガを読む詩人のエッセイ＋童話＋詩＋マンガ＋イラスト

サラリーマン・ストーリー
日本凡人伝　猪瀬直樹　980円
見せるための人生芸能を生きてしまったマスコミ人の言葉の屍が、ブラウン管の向こうに累々と横たわる今日このごろ、だれに見せるためでもない人生芸能を生きた「凡人」の口のセンを抜いてあげると、そこには8時間単位の微ロマンチシズムがまだ死んでいない。たぶん、それはニッポン凡人が持ちうる最後の浪漫だろう。　藤原新也

マーケティング・サイコロジィ
［生活心理分析の方法］
4800円
推薦［西和彦［アスキー副社長］
大ヒット商品の背後には必ずそのアイデアを思いついたプロの存在がある。人の真似をすることが普通になっている今日、「生活心理分析」というオリジナルな発想でユニークなヒットを打ち続け、日本の若者から年寄まで、幅広いお客様を幸福にし続ける商品の魔術師それが油谷さんである。

油谷遵［ガウス生活心理研究所所長］学習院大学大学院人文科学研究科修士修了
20世紀末消費生活
［人間は、なぜ商品を買うのか］
1400円
糸井さんも川崎さんも面白いことを続けていますが、その後ろにある企業の戦略は、まだブラックボックスです。企業と消費者の速球の投げ合いは、ますますスリリングな場面に。本書は成熟社会の生活者の消費行動を、「生活心理分析」の手法で明らかにします。

原理研 悪徳商法 が君を狙っている

長い受験生活から解放されたのも束の間、今度は長ーいローン地獄や社会から隔離された「修練会」なる魔の手に捕われたのでは、楽しい学園生活が破壊されてしまう。最近被害者が増加している悪徳商法と原理研究会のワナ。新しい生活を始めた気の緩みと、何事にもチャレンジしたくなる気負につけ込んで彼らのワナが待ち受けている。

彼らの手口と隠された正体を白日の下に晒して新入生に注意を促がしたい。これを参考に、友人やサークルの先輩たちから失敗談や詳しい説明を聞き、彼らにつけ入るスキを与えないでもらいたいと願う。（編集部）

キャッチセールス
サイン一つで80万円の負担

「海外旅行に行ってみませんか…」甘い言葉で高額商品を買わせる（池袋駅近くで　写真提供毎日新聞社）

育英会パンフレット（八五・一）に「御用心！高額な英会話教材の売り込み」という記事がある。「育英会の子会社である」とか「育英会が後援している」と語りかけ、四〇万から五〇万円もするビデオ英会話教材を売りつける悪徳商法に対して注意を促している。このほか街頭でアンケート調査をしながら、映画割引き付会員権やレジャー会員権を売り込んだり、電話やハガキで「あなたが特に選ばれました」と甘い誘惑で呼び出すなどの手口がみられる。

ローン販売に抵抗感が少ない、社会経験の浅い大学生がよく狙われているようだ。その中の一例を上げてみると。

二年生のA君。三月に女性の声で電話があり、Rシステムの営業所に呼び出され、旅行に行ける等勧誘され英会話教材を購入。O社とローン契約した。支払いが困難な上に旅行にも行けないので解約を申し出たら、損料五〇%と言われ、その後、解約には応じられないと言われた。

セールスマンが電話をかけ、会う糸口をつかむために使うセールストークには「モニターに選ばれた」などもある。一旦誘い出すと一対一で相手に口をはさませる余地を与えず、立板に水のごとくしゃべりまくる。「当社の教材システムはレーザーディスクを使用した新しい習得方法。レッスンは海外講師。海外旅行のチャンスもあります」。さらに「国際化時代に英会話は常識。就職にも便利」と弱味をつつく。

今なら割引きで「月々の支払額は一万六千円。これならアルバイトをすれば簡単ですよ」と説得しアルバイト斡旋をする社もある。これで契約を交すと履行の義務が生じ、その額四〇～八〇万円程。

だが実際は、商品が難解だったり、旅行に行けない、支払えないなどで困るケースが多い。そこで解約を申し出ても応じなかったり、莫大な解約料を請求されたり……。

こういった苦情が消費生活センターに激増し始めたのが七八、九年から。国民生活センターの調べ（八三年度）では、訪問販売の相談件数トップが英会話教材、次いで学習教材。八三年度の対前年度増加率は一五・五%と全国的に減る傾向がない。今年、東映教育映画部が「訪問販売の被害を防ぐ」を製作したり、板橋区消費生活センターが異例の警告パンフで注意を呼びかけているのも詐欺まがいの商法が横行し被害者が増えているからだろう。

相談内容には、健康食品（高麗人参、やせ薬など）も多く、印鑑、つぼ・多宝塔もある。女性の場合特に、化粧品が多い。契約後、親の承諾が得られないことを理由に断わりに行くと説得され、年令を二〇歳と偽って再契約させられた例もある。

以上のような詐欺まがいの商法に騙された場合に向けて消費者保護体策がある。それは改正割賦販売法（八四・十二・一施行）で、契約日から七日以内なら無条件解約ができると規定する「クーリングオフ（頭を冷やすの意）」制度だ。これは期間内に申し込みを撤回または契約を解約する旨の書面を出せばよいもので、期間内に相手方に書面が到着する必要はない。

書面は証拠保持の観点から内容証明郵便を利用するのが賢明だ。内容証明の用紙は文具店で市販されている。複写で四通準備し、販売業者、信販会社、郵便局保管、差出人保管を作製し、集配局窓口で「内容証明郵便」と言って差出す。

ただし、商品を受け取り現金支払した場合と、消耗品（化粧品・食品）で商品価値の落ちたものは適用外である。

保護対策も進んだが、最も肝心なのは、セールスマンの言葉にうかつに乗らない、不用なものはキッパリと断わり、ダラダラと話を聞かないで去る。そして欲しいものは選んで買うこと。それでも悪徳な商法に騙された場合は、クーリングオフを活用することであり、トラブルが起きたら近くの消費生活センターに相談に行き、必死になって解約の相談をすることだ。

訪問販売

え・渡辺　正義

原理研＝勝共連合
中曽根・レーガン
軍事大国化の尖兵

新入生諸君は「原理研究会」という名前を聞いたことがあるだろうか。名前を聞いたことがなくても、駅頭や街かどで「聖書に興味はありませんか」「現在の生活に満足していますか」とアンケートを採ったり、「インドシナ難民救援」などというインチキ募金をやっているのに出会ったことはあるかもしれない。彼らが原理＝勝共連合だ。決して「原理研」とは名乗らず一見それと分からない勧誘方法でホームに連れ込み、「修練会」で狂信的な反共イデオロギーをたたきこみ人格を一変させて新たな原理研会員に仕立てようとしているのである。昨年の本学入学式当日には、西門前路上で十三人の原理学生が「世界学生新聞（原理系）」の年間購読契約の勧誘を行なっている。

原理研とは「世界基督教統一神霊教会」の学生組織で、韓国人教祖文鮮明を神と仰ぐ宗教団体を装っている。だがその実体は「国際勝共連合」と表裏一体を成す政治団体であり、「神（文鮮明）とサタン（共産圏）に分裂した世界を神の国（メシア）に統一するためには、第三次世界大戦も辞さない」とした至上目標を掲げて活動している。具体的な動きとしては、教科書攻撃、スパイ防止法制定国民会議の結成がある。

大学における目的は、原理研の内部機関紙「J－CARP・NEWS」（七二年創刊号）では「東大を中心にした自治会復帰。特に主要大学の自治会復帰」（復帰とは原理用語で原理側に獲得すること）をあげている。これには学生獲得、思想宣布による学園の勝共化で、日本社会の思想基盤を「復帰」させるという狙いが描かれているのである。そのため、原理学生によるサークル支配（青学大）、自治会デッチあげ（慶応）、新聞会スパイ事件（福大）、警察と結託した自治会潰し（東大）など全国ほとんどの大学で何らかの動きが見られている。

西門前路上で勧誘する原理学生（八四年入学式当日）

これら原理研の動きに対し各大学では「一掃決議」を上げるなどで彼らの活動を排除してきた。だが八三年から、中曽根＝レーガンの軍事大国化路線、さらに日米韓軍事同盟をテコとした日韓新時代を背景にして再び活発な活動を展開してきている。八三年十一月には早大で「レーガン大統領来日歓迎集会」を開き、登場した全国原理研究会長太田洪量はレーガンをヨシュア（救世主）にみたてて「あなたの命令に従わないものは誰も生かしてはおきません」と宣言し、軍事的支配体制確立の尖兵という自らの役割を暴露している。

また「ムーニズム（Moonism）」なる新しい名（文鮮明の英語表記サン・ミヨン・ムーンから）を装いビデオ鑑賞券やパーティ券を販売したり、CARPフェスティバル（八四・二）では学生バンドがマイケルジャクソンの曲や「フラッシュダンス」を演奏するなど彼らの勧誘がソフト化してきている。多様化する学生の趣向に取り入って、できるだけ大量の学生を獲得しその勢力拡大を目論んでいるのは明らかである。

軍事大国化路線を後押しする学生の養成を狙った原理研の活動を紛砕するとともに、新入生は勧誘に対しキッパリと拒否する強い姿勢が望まれている。

波紋
「色落ちしない口紅」

春は変身するチャンス。ファッショナブルな服装に挑戦したり、春のイメージを表現する化粧をコーディネイトしたり。

化粧品が変身している。「聖子のバイオ口紅」で話題となったベジタブル感覚の口紅がそれだ。各社バイオ化粧品と銘打った「色落ちしない」口紅は、発売以来好評だ。

資生堂の調べによると口紅の選択基準に「色落ちしにくい」を上げる女性は多い。色持ちが悪いという不満点をあげる女性は、十八～二四歳で四五%、二五～三四歳は七〇%と特に高い。この「色落ちしにくい」という潜在的ニーズに、バイオの技術（荒れた唇の回復を助けるβ－カロチンと紅花からとる天然色素カルサミン配合）と、色落ちしない伸びるに威力を示す揮発性油分の開発が組み合って人気を集めているのだろう。

質感もつやつやからマットな仕上がりとなり、光らせることより自然さを演出する。ベジタブルというネーミングも今の、自然＝ヘルシー志向とマッチし、「粧う」から「守る」化粧へと変化してきていると言えそうだ。水に濡れても落ちないファンデーションの開発も同様の背景がある。

従来の口紅だと、朝つけて、昼食時までに二度ぐらい塗り直す必要があったが、これだと朝つけた状態が昼まで持続。またコーヒーを飲んだりした後の差もはっきり出る。

これなら女性の社会活動が活発になっている現在、ひんぱんに化粧品に触れることもなくて済むし、鏡に向かう回数も減らせる。もう少し、女性が化粧するということ自体に引きよせるならば、化粧をすることが、他者のためにでなく、自己表現としてあるなら、素肌と「一体化」する化粧によって生理的身体に近い姿で表現できるのだとする自己意識が、共同体から受けてきた性の異和感に打ち勝つようになったのだと言えるのではないだろうか。

それなら全く化粧しないというふうに先鋭化するかと言えば、そういった段階に入っていないのは、自分自身の身体との調和または異化、他者といる場面との調和と異化を求めてその間に身を委ねることに敏感な女性的な特徴なのだろうか。（レタス）

分断列島ニッポン

意見広告

かの旅の夜汽車の窓に
おもひたる
我がゆくすゑのかなしかりしかな
（石川啄木「一握の砂」より）

「一握の砂」には鉄道がよくでてきます。川端康成の有名なことばを引くまでもなく、ときには推理小説に、スクリーンの表舞台に活躍してきた鉄道――。百年をこす国鉄は、日本の政治、社会、経済に大きく貢献してきたばかりでなく、ロマンや哀愁をのせて文化にとけこんできました。

この国鉄を、政府・自民党、国鉄当局は経営赤字を理由にして解体＝「分割・民営化」しようとしています。

●昭和初期に逆もどり

国鉄当局は、二年後に現行の公共企業体を民営化し、ローカル線切り捨て、長期債務は国民負担、職員を大幅削減する「経営改革の基本方策」を発表しました。

この案では、全国ネットワークで残るのは東海道・山陽、東北・上越の三新幹線と東海道や山陽などの六十六幹線、ローカル線二十線の合計八十九線一万四千四百キロ。現在の二万一千キロの線路網が昭和初期の規模になります。

●首都圏も分割

国鉄再建監理委員会はこの七月、分割・民営化の答申を出すといっています。NHKによると北海道・四国・九州の三島は分割、本州は東北・上越・中部・西日本の四つにわける「七分割」を伝えています。

首都圏でみると、中央線は上越、山手線は東北の会社がうけもつというのです。

●切りさかれるダイヤ

いずれも、正確な列車ダイヤは切りさかれ、大幅な運賃値上げ、乗り換え、ローカル線の廃止などでたいへん不便な鉄道になる〝再建策〟です。

すでに国鉄から切りはなされた盛岡の久慈・宮古・盛の三線は、昨年「三陸鉄道」に衣がえしましたが、運賃は国鉄五百六十円→三陸鉄道七百四十円、通学定期一ヵ月＝国鉄七千八百七十円→一万七千七百六十円、通勤定期一ヵ月＝国鉄一万六千八百円→三万一千八十円（釜石―盛間36・6km）になっています。

●経営赤字の裏側

国鉄の累積赤字は二十兆円。来年度はそれが二十四兆円、一九九〇年には三十兆円を超えるといいます。どうしてこんな泥沼に陥ったのでしょう。

泥沼の背景には、国鉄自身では解決できない体質がかくされています。

一九六〇年代、高度経済成長に対処するために政府・財界が「鉄道輸送力の増強」を指示したとき、国鉄は自らの資金力を無視して借金につぐ借金をくりかえして設備投資をしてきました。また一部政治家の利権や集票にさえ利用されてきました。

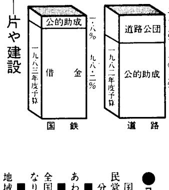
●借金たよりの設備投資

こうして鉄道や用地、施設などに使われた資金は実に十三兆円にものぼり、これがいまの長期債務の基礎になって国鉄の首をしめつけているのです。

正確にいうと、国鉄の設備投資はこの十九年間に十三兆五千五十四億円。その結果、十兆二千四百九十億円の赤字が発生しました。

このため今日では、旅客・貨物収入の四割以上が利子の支払いにあてられる、驚くべき事態をまねいています。しかも最近では、単年度の赤字額と支払う利子がほぼ同じという状態です。

借金による設備投資さえしなかったら、国鉄はもっと健全な運営を行えていたはずです。同じ公共交通の施設である道路や港湾、空港などはどうでしょう。たとえば道路の設備投資の総額は国鉄の五倍にもなっています。しかも全額を国や地方自治体が負担しているのです。



●廃止――片や建設

赤字ローカル線を廃止しろ、という意見があります。国鉄はその歴史の中で、ときにはあえて不便なところに鉄道を通してきました。なによりも、国鉄を必要とする人びとがいたからです。ここに国鉄の存在があるのではないでしょうか。

もしも、ローカル線を赤字のやり玉にあげるのなら、上越新幹線の方がはるかに多くの赤字を生んでいます。第一次廃止対象四十線は、人びとの強い存続要求の声をよそにつぎつぎと廃止されています。しかし、そこから出る年間赤字は百七十二億円。上越新幹線は一年間にその約五倍、八百九十億円の赤字を出しています。

●分割・民営になると

国鉄労働組合は、どのような形の分割も、民営化にも反対です。

分割・民営化されたらどうなるでしょう。

■公共性よりも利益が優先されて、採算があわないことは切り捨てられます。

■全国ネットワークがズタズタに切られ、全国・統一した列車ダイヤの編成ができなくなります。

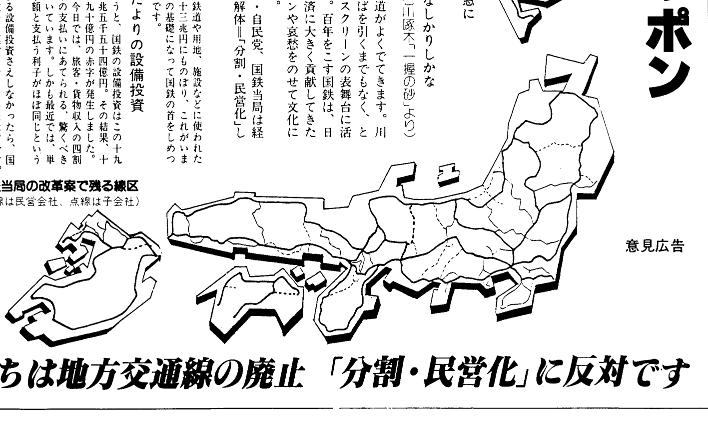
■運賃が大幅に値上げされます。新運賃は地域内の高い私鉄運賃が基準になり、会社の違う線に乗りつぐとさらに割高になります。

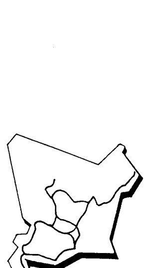
■国民の共有財産が一部大手資本や政治家により自由に処分・売買されます。（国鉄の固定資産は再評価額で五十兆円。政・財界が分割・民営化を求めるほんとうのねらいはここにあります）。

■国鉄労働者。現行の三十四万人を、いっきょに十五万人減らす首切り。労働組合には団交権、団結権、スト権を徹底して規制。

国鉄、そして教育・自治体行政の破壊。軍事費の拡大――それが政府のいう「行政改革」です。

国鉄当局の改革案で残る線区
（実線は民営会社、点線は子会社）





祝入学

私たちはいま、利用しやすい国鉄づくりによる国鉄再建をめざして運動を展開しています。

ご意見をおよせ下さい。

国鉄労働組合
東京都千代田区丸の内一―十一―四
TEL　二一二―四六五一

私たちは地方交通線の廃止「分割・民営化」に反対です

中華料理・大・小宴会
精華園
（TEL 953-3348）

中国料理　大小御宴会承ります　50名様
紅楽
CHINESE RESTAURANT
目白駅協和銀行筋向
TEL (953) 3727,5281

やぶ重
天井
親子丼
目白駅通り TEL (953)1809

本紙講演会報告

今回掲載する講演録は、昨年十一月三日に開かれた本紙大学祭企画の報告である。講師に芹沢俊介氏（文芸評論家）を招き、「グリコ事件」「三浦事件」などが言わゆる風俗と呼ばれる現象として現在突出してきたのはなぜか、という問題意識から催したものだった。講演は、七月に出された吉本隆明『マス・イメージ論』による「現在」の把握の仕方と同様に、「現在」という作者のマス・イメージが生み出す風俗、という観点からなされた。

まず風俗がサブカルチャーという概念では括れないことを明らかにされた上で、ロラン・バルトとエドガール・モランが先に示した概念を検討しながら「現代の風俗」という概念を探っていった。記号論的な展開で説明されていく中で示された「風俗の共作者」とその背後に潜む「死の衝動」という問題提起は、今後の大衆・社会意識を考える上で示唆に富むものであると判断し、本号で講演の全文を掲載することにした。

——編集部

講演　現代の風俗とマス・イメージ

巨大なマスとしての死の衝動が露出　——芹沢　俊介

大衆文化とサブカルチャー

芹沢と申します宜しくお願いします。

今年（五九年）一月位から今紹介していただきました風俗批評の雑誌『ばば』を、毎月月刊という形で出してきたんです。それで、今なぜ僕らが風俗を問題にしていくのかという、現代における風俗の意味と言うんでしょうか、時代的な意味っていうのは何だろうか、そういうようなところをお話しできたらという気持ちで今日来ました。

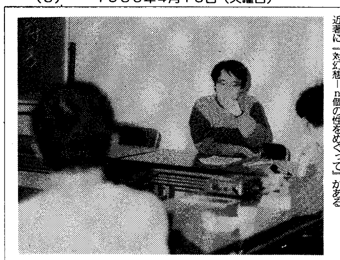
なぜ風俗を今問題にするのかというような問いに答えていくためには、風俗とは何か、僕らが今考えている風俗とは何かということにうまく答えられなくてはならないと思うんです。うまく答えるということは大変難かしいことだと思うんですけど、それになるべく近づきたい、近づけてみたいという気がします。

僕らが考えている風俗という概念、それに近い概念としまして大衆文化とかですね、サブカルチャーという概念があると思います。それにまず僕らが考えている風俗という言葉をこすりつけてみたいと思うんですけど。

今まで一年程『ばば』をやってきたんですけど、その中でどういうテーマを取り上げてきたかといいますと、今十号まで出てましてね、最初が「AIDS」というアメリカではやった一種の性病ですね。今あまり問題にならなくなっちゃったんですけど、そういうテーマを取りあげています。それから次が「引退以後の山口百恵」。引退してからもなぜ百恵フィーバーが起こっているかということを、問題にしました。三号めが「愛人バンク」、それから四号めが「池坊保子」、それから五号めが例の「三浦事件」です。それから六号めが「少女雑誌のセックス記事」ということで大変話題になったんですけど少女雑誌に非常に過激なセックス記事が載っているというそういうところを突っついてみました。それからその次が「グリコ事件」です。それから次が「サラ金ヤタガイの倒産」ですね。それから九冊めが「ロスオリンピック」、それと今出てるのが「日本にピラミッドはあったか」というあの「サンデー毎日」の企画自体を問題にしています。今進行中なのが池田理代子さんの問題、これはもう印刷に入っています。十二本めが、またグリコ事件の続きですが、あの森永事件があります。これが今原稿進行中という形です。

こうして並べてみますと、これらのテーマが第一に、大衆文化とかサブカルチャーといったそのカテゴリーの内にどうもスッポリ収まりきれないんじゃないかというのが何となくわかるんじゃないかと思います。なぜこういうテーマが、大衆文化とかサブカルチャーっていうカテゴリーの内に収まりきれないかといいますと、最初に思いつくのは今あげたようなテーマ、あるいは現象には特定の作者がいないっていう点を指摘することができるんじゃないかと思うんです。

映画とか演劇だとか歌、そういうものですと割り合いはっきりと作者ないし演出家を指定することができるわけです。でも今、我々が取りあげてきたようなテーマないし現象には、具体的な個人の作者と覚しき人を指定することができないんじゃないか。そういう意味での作者、〝個人の作者〟という意味での作者というのが不在じゃないかっていう気がします。



芹沢　俊介（せりざわ・しゅんすけ）
一九四二年東京生まれ。上智大経済学部卒業。
著書に『宿命と表現』『鮎川信夫』『戦後詩人論』『詩的体験の拡大』『芥川龍之介の宿命』『高村光太郎』『戦後社会の性と家族』『家族の現象論』『女性はいまどこにいるのか』他。近著に『対幻想—n個の性をめぐって』がある

『ばば』４月号は「松田聖子の別れ方教えます」

つまり、文化—カルチャーという言葉にある生産的な意味っていうんでしょうか、生産的なイメージっていうんでしょうか、ないしは教養的あるいは娯楽教養的っていうふうに言ってもいいんでしょうけど、そういう匂いっていったものが我々が今まで取りあげてきたテーマにはまるでないような気がします。

それで、同じことを別の言葉で言うことになっちゃうんですけど、作り手が無いとなると、作り手と受け手という形での二元論っていうんでしょうか。つまり作る側とそれを受けて享受する側という二元論が、我々が手がけてきたような現象には存在しないという事が言えるような気がします。そういうことと反対にゴシップとかスキャンダルとか犯罪とか、あるいは祭典といった非常に消極的でどこかいかがわしいって言うんでしょうか、そういうものが我々が扱ってきたテーマには漂っているんじゃないかっていう気がします。その点がどうも大衆文化とかサブカルチャーというところに収まりきれない一つの理由じゃないか。そういうふうにまず考えることができるような気がします。

次にもう少し別の角度から風俗という所に、僕らが考える風俗という所に近づいてみたいと思うんです。フランスの批評家にロラン・バルトという人がいまして—この方もう死んじゃったんですけど—そのロラン・バルトに「雑報の構造」という文章がありまして、雑報というのは雑文の雑ですね、それから報道の報を書きまして雑報というんですけど。その雑報という考え方に近いんじゃないかということで取りあげてみたいと思います。もう一つは、やっぱり同じフランスですけど、フランスの社会学者でですね、エドガール・モランという人がいまして、出来事の社会学という考え方が、事によったら我々が考える風俗にかなり近いんじゃないかっていうそういう感じがします。それでバルトの雑報とモランの出来事というのはどういうことかを簡単に紹介しながら、僕らの考える風俗というもの、風俗という考え方を突き詰めていけたらと考えます。

バルトの「雑報」　風俗は開かれている

まずバルトの雑報なんですけど、バルトは雑報について得体の知れない情報だっていう言い方をします。それは、世界に名前を与える仕事が終わったところから初めて存在し始めるのではないかという言い方をします。つまり世界に名前を与えるということはこれは政治の事件である、あるいはこれは経済である、それからこれは戦争である、演劇である、スポーツである学問である文学であるという様な名前を与える。そういう形で名前を与える。そういう仕事が終わったところから雑報というのは存在し始めるっていう言い方をしています。

その特徴は、雑報を消費するためには少しも世界を知っている必要はないということです。つまりそれは、その雑報自体によって存在しているのであって他の何者にも帰着させることができないということです。つまり雑報を読むには他の知識は何ら必要ないということを言っています。そういう意味で、雑報というのは閉じた構造であるということをバルトは言うんです。

その雑報の閉じた構造はですね、ニュースが二つ重なることによって一つの関係を確立する、その含みを持つ時に雑報というのは初めて成立すると言っています。つまりニュースが重なった時、その関係の問題性を指して雑報というふうに言っています。それはどういう事かっていいますと、彼の提出している例で言ってみますと、「パリ裁判所清掃さる」という文章があるんですけど、これだけではバルトは雑報にはならないって言っています。それには「百年来初めて」というもう一つのニュースが重なって初めて雑報になってくる。つまり「パリ裁判所清掃さる、百年来初めて」というふうにですね二つのニュースが継がって、そこに関係の問題性が現われてくるというわけです。その時初めて雑報というのが成立するとバルトは言っています。

さらにバルトは、雑報について内在する関係というのを二つのタイプに分けています。一つは因果関係としてその二つのニュースが関係づけられている、そういうことです。それからもう一つは、符号の関係。符号の関係でその二つのニュースが成立しているということを言っています。

一つ一つ簡単に説明していきたいと思うんですけど、因果関係で二つのニュースが成り立っていると言う時に、バルトはこういう例を引いています。「アラスカで列車脱線ポイントを鹿に壊されて」。つまり列車脱線について、ポイントが鹿に壊されたというその因果関係、列車脱線という結果に対して、鹿にそのポイントを壊されてという原因ですね、それがくっついて初めて雑報になるという言い方をしています。もう一つバルトがあげている例は、「アメリカ女子学生学業断念、バスト一〇四センチが騒ぎのもと」、そういう例をもう一つ因果関係の例としてあげています。つまりあまりその女子学生のバストが大きいんで、学校中が騒ぎになって学校に来れなくなっちゃって学業を断念したということだろうと思うんですけれど。そういう因果関係というものが雑報に内在する一つの関係であると言っています。

もう一つは符号の関係。符号の関係には二つありまして一つは事件の繰り返しという形で現われるのが一つ。それは例えばバルトが出している例で言いますと、「三度襲われた宝石店」、つまり一度だけじゃなくて二度三度、同じ宝石店が襲われたということ。それから「ホテルの女主人、宝くじに毎回当選」ということですね、何か符号があると、繰り返しには何か符号があるる、つまりそこに意味が出てくるということなんですけども、その符号の関係。一つは事件の繰り返しという形でそれは出てくるんだということです。

でもう一つは質的に隔たった二つの報を引き合わせる関係というふうに言っています。質的に隔たった二つの報というのは、「女性一人でギャング四人撃退」という例を上げています。つまり女性一人で本来なら、ギャング四人を撃退することっていうのは非常に難しいっていう一般通念があります。従って女性とギャングという質的に非常に隔たった二つの項目を引き合わせる関係として、符号の関係があるということを言っています。

それから、因果関係と符号の関係というのは、因果関係というのは絶えず符号の関係に誘惑され支配されているし逆にその符号の関係というのは、絶えず因果関係という秩序に魅了されているんだっていう風にバルトは言っています。それがバルトの言う雑報です。

そうしますと、じゃあ雑報の役割というのはどういうことかって言いますと、現代社会の中で合理と不合理、理解しうるものと計り知れないものとのどっちつかずの所を守り続けることだというふうに雑報の役割をバルトは捉えています。それで僕らの風俗というカテゴリーは、このバルトの言う雑報の合理と不合理、理解しうるものと計り知れないものとのどっちつかずな領域、そういう所に現われる現象なんだというふうにとりあえず言う事はできるんじゃないかという気がします。

じゃあこの雑報と、僕らの考える風俗というのはどこが異なるのかということが、次の問題として出てきます。雑報がメディアに媒介されているという点では、僕らの風俗も同じだと思います。ただ雑報がバルトの言う様に閉じた構造を持つのに対して、僕らの考える風俗というのは、常に社会の方への回路を持っていると言うんでしょうか。風俗というのはそれ自体、自律的でありながら社会の方に開かれた構造を持っているということ。その点がバルトの言う雑報と僕らが考える風俗との違いじゃないかという気がします。そうなりますと風俗というのは、モランの言う出来事という考え方に非常に近くなってくるわけです。

ロラン・バルト（Roland Barthes、一九一五—一九八〇）
仏のシェルブールに生まれる。パリ大学で古代ギリシア文学を学ぶ。文学研究の方法としての言語学に着目、国立科学研究センター研究員で五四年『零度のエクリチュール』発表。〈マス・コミュニケイション研究センター〉教授を経て、コレージュ・ド・フランス教授。八〇年没。
著書は他に『ミシュレ』『神話作用』『ラシーヌ』『エッセ・クリティック』『記号学の原理』『批評と真実』『物語の構造分析』『モードの体系』『S/Z』『旧修辞学』『表徴の帝国』『サド、フーリエ、ロヨラ』『新＝批評的エッセー』『彼自身によるロラン・バルド』『恋愛のディスクール・断章』など多数。（写真提供　毎日新聞社）

モランの「出来事」　虚と実の間を生きる

出来事というのは、モランの言い方をすれば、社会学的な視点から見た社会学としての出来事、出来事としての社会学ということになるんですけど。モランはその出来事というのは、統計学的な規則性の中には存在しないようなものだと定義しています。これはバルトの言うどっちつかず、つまり理解しうるものと予測のつかないもの、そのどっちつかずの構造にある雑報という理解の仕方、把握と非常に近い。ほとんど同一だという事ができます。そうなりますとモランが、あり得ないもの、偶然的なもの、運によるもの、独自なもの、具体的なもの、歴史的なものというふうに出来事を捉える視点を並べるわけですけれどもそれもバルトの雑報の把握の仕方と非常に近いと思います。

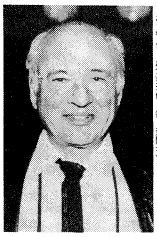
ただモランが言う出来事はその要素を、その出来事とその要素というふうに分解していきます。出来事のそれが時間的であるのに対して、その要素というのは空間的であると捉えていきます。出来事と要素というのはまた同時に、非常に相対的であるという見方も呈示しています。

つまりどう言う事かと言いますと、同じ現象が一つの体系の中では出来事であるけれどもまた、他の体系の中では要素になってしまうという捉え方をしています。その例としまして、週末の自動車事故による死者というのは、統計の中では予測可能な確立上の要素になってしまうけれども、その各々の死者っていうのは家族にとって具体的な予測ができない破局であるゆえに出来事であるという捉え方をします。同じ一つの現象が、ある体系の中では出来事になり、ある体系の中では要素になってしまうその相対性をモランは指摘しています。

簡単にモランの出来事という考え方を紹介したんですけれど、モランの出来事と僕らが考える風俗というカテゴリーとはどこが違うんだろうかという事が、もう一回ここで問われるんですけれども、まず出来事には、雑報にあったメディアの媒介という視点がないわけです。このことはかなり重要なことであって、雑報には—雑報つまりあくまで報道ですから—メディアというものが何らかの形で媒介されている。つまりメディアを通してその雑報というものに僕らは触れるわけです。出来事ももちろんそうなんですけれども、モランの内にはメディアに媒介された出来事という視点はないように思います。

そうしますと、ここから風俗というのは、非常に大雑把に言ってしまいますと、バルトの言う雑報と、モランの言う出来事というその二つのカテゴリーの、その丁度二つの中間地帯に広がる領域を指すというふうに、とりあえず言うことができるような気がします。

そうしますと割り合い僕らが考える風俗という観点に、少し近づいたんじゃないかという気がします。つまり、雑報という性格が出来事の方に向かって進む時に曖昧になる境界があります。反対に出来事の性格っていうのが雑報に向かっていくと曖昧になっていく境界があります。その二つの境界の間を風俗という領域が占めるんじゃないか。ある意味で非常に抽象的な言い方なんですけど、そういうことがとりあえず言えそうな気がします。



エドガール・モラン（Edgar Morin）
一九二一年パリに生まれる。国立科学研究センターで人間科学の研究を続ける。一つの科学の枠内に閉じ込もることを拒否し、多元的手法による接近を試みている。『時代の精神』『自己批判』『映画』『プロデメの変貌』『オルレアンのうわさ』他。（写真提供　毎日新聞社）

風俗化のプロセス　三者の共同作業で

出来事を事実性として追い詰めていくと、どっかで雑報の不確さと言うんでしょうかそういうものが事実性として追い詰めていくことを妨げますし、じゃあそれはたかが雑報じゃないかっていうふうにして捨てようとする時には、どうも出来事の事実性が捨てることを防害するって言うんでしょうか。妨げるというふうに働らく。そういう領域というふうに言うことができるような気がします。つまり別の言葉で言い換えますと、風俗においてはその現象の中で動く人間というのは、実存性と虚構性というんでしょうか、その間を生きるっていうふうに言えば幾分か我々のテーマに近づいたことになるかもしれないと思います。

もう一つ、そういう風俗へ参入するためには何が必要かって言いますと、個人としての主体というものが、まず消却される必要があります。それが風俗に参入するための非常に重要な一つの条件になるような気がします。

そういう意味での個人性の消却という観点から少し飛躍的な言い方をしますと、風俗というのは射程ゼロの共同幻想である、とまあそういう見方が可能である、そういうような気がするんです。で少しそのことを説明していきたいと思うんですけれども、共同幻想というのは、死に浸透された世界、今この時の死に浸透された世界ということになるんです。少し説明していきたいと思うんですけどそれには、どういうふうにして風俗化していくか、と言いましょうか。風俗へのプロセスというものをたどってみるのがいいと思うんです。

例を池田理代子さんの事件というかスキャンダルに採ってみます。

まず出会いというものがあります。それは例えば、池田理代子さんの例で言いますと桐島洋子さんのホームパーティで、松谷蒼一郎さんという建設省住宅局長という肩書きを持った男性と出会うわけです。そこで知り合って二人の相互作用によって、恋人同志になっていくわけです。で、二人の関係というのは、段々濃度を増していくっていう事態があったと考えられるわけです。その出会いと二人の相互作用が起きることによってモランの言う出来事というのがそこで成立するわけです。

ところがこのスキャンダルは第二段階があるわけです。つまりそのままではスキャンダルにはならないわけで、次の段階としてフォーカスというメディアに二人の関係がキャッチされフォーカスに公開されるわけです。この段階で二人の関係というのが、実在性と同時に虚構性を獲得していくということが言えると思います。つまりそれはまだ、依然として出来事性というものを保持しながら、雑報性の性格の方へ引き寄せられていくわけですけど、しかしそれはまだ風俗になっていません。

なぜ風俗になっていないかと言いますと、雑報の性格である繰り返しっていうんですか符号の関係がまだないからです。つまりメディアによって繰り返し取り上げられるということがまだ起こってないわけで、フォーカスというメディアにキャッチされた段階では、実在性と同時に虚構性を獲得してはいるんですけど、僕らの考える風俗にはまだなっていないと言えると思

【四面に続く】

暮らし独立、貯え独歩。
ちょっと欲張りな、独立人の証券貯蓄です。
そろそろ自分の足で納得のゆくまで歩いてみたい。
——そんなマイペースあなたにおすすめしたい
とっても手軽で自由な証券貯蓄です。
■株式　■公社債　■投資信託
マイペース取引
証券投資は初めての方でも安心してお取引できるシステムです。
東京☎03(214)3232
大阪☎06(204)1545
新しい心でゆとりの明日を創ります。
東京証券
〒100 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
資本金/33億9000万円　全国/46店　海外/ロンドン
※詳しくは、お電話かハガキで通信販売部までどうぞ
マイペース取引資料請求券　学習院大学

運転免許
短期間の合宿教習で
免許が取れます!!
夏休みの予約受付中
日程、料金等はお問い合わせ下さい
蓁々会売店にて
予約受付中
⊙実地免除
⊙普通免許卒業まで最短17日間
⊙運転免許ローン歓迎(6～24回払)

学習院大学指定　（お問い合せ先：蓁々会売店）
千葉県公認校グループ免許センター　03-438-1900(代)
〒105 東京都港区新橋3-21-2　江藤ビル4F〈新橋烏森口より1分〉

編集部員募集

□内政・外報・文化・社会部で構成
写真・広告部員も募集
□原則として85、84年入学の方、対象ですが
83年入学の方も歓迎します
□写真、エッセイ、詩のコンテスト考案中です。企画運営を
手伝ってくれる方も募集しています

学習院大学新聞社　黎明会館３１６号室
☎03（986）0221内線607

学内フラッシュ

	卒業者数	就職希望者	就職決定者	就職率%
法	213	187 (40)	183 (39)	97.9
政	222	195 (52)	189 (51)	96.9
済	256	238 (46)	238 (46)	100.0
営	209	180 (31)	179 (31)	99.4
哲	93	45 (29)	41 (27)	91.1
史	77	55 (49)	51 (47)	92.7
国	82	66 (54)	64 (54)	97.0
英	134	110 (94)	108 (92)	98.2
独	47	37 (30)	36 (29)	97.3
仏	87	67 (50)	63 (47)	94.0
心	79	68 (50)	65 (48)	95.6
物	33	15 (3)	15 (3)	100.0
化	32	24 (5)	22 (5)	91.7
数	61	52 (14)	49 (14)	94.2
計	1,625	1,339(547)	1,303(533)	97.3

1984年度大学就職状況(学科別)
1984年3月11日現在　(　)は女子内数

五十九年度 スムーズな動きで良好 就職率、全体で97・3%

卒業式

前年度就職状況が、就職部から発表された。三月十一日現在での中間発表で、二〇日に卒業式出席者に配布されたもの。それによると就職率は卒業生全体で九七・三%。今後の追跡調査で最終的には九七・四%になる見込み。

前年度の特徴は、全国的に景気が回復の傾向にあり大企業への就職が増加(二・二%)したことと同様、本学も大企業への就職が増大したことが上げられる。メーカー採用が強く、エレクトロニクス分野での活躍が特に目立った。そのなかでも富士通に男、女十五人づつ就職したことは特筆すべきだろう。

男・女とも、就職活動の足取りが早かったこともあり内定の流れはスムーズに動き、それにより就職活動全体の流れ自体が良かったことが八四年度に良好な結果をもたらした大きな原因とみられる。また八三年度から注目されていたOA化の影響が一応通りすぎ、適材適所にという採用側の方針変更も採用活動を活発にしている。

中村就職課長は、採用活動の流れが良かったことで第一志望に入った人が多い、苦戦した人も何人かいたがスタートを遅らせないことが肝心。しかし大量採用と「いい就職」は必ずしも結びつかない。将来の人事管理を見通した就職活動が必要だろうとアドバイスしている。

そのほか公務員試験合格者が国家中級(十一人)、地方上級(三十三人)ともに多かったのは、大学主催就職部事務局で運営している公務員セミナーの成果によるところが大きいと見られる。また本年度から国家公務員試験がI II種に変更されるが、すでに応分の対策が講じられていることも公務員志望者が増加する傾向にある中、朗報と言えそうだ。

創造力で切り開け（学長） 卒業生一七七二人を激励

就職状況

第三十四回(八四年度)卒業式は三月二〇日開かれた。卒業者数は学士課程一六二五人、博士前期課程・修士課程一〇三人、博士後期課程二人。学士課程はその後四二人増えており卒業生合計は一七七二人となっている。

式は「君が代」を歌って始められ、まず各課程総代が学位記、卒業証書を授受された。続いてお祝いと激励の言葉が贈られ、最後に音楽部演奏により全員が「蛍の光」、院歌を斉唱し一時間ほどで終了している。

三〇年前の卒業生を壇上に招いて行なわれた法・経済学部卒業式は木下是雄学長が、日本経済の大発展は国際関係を密にしてきた、一方、働くことの意識変化がみられ遊ぶ精神を重視する傾向にあるが、その精神を新しいアイデア、創造力を発揮する活動につなげ社会発展に心掛けて欲しいと告辞を述べた。磯部忠正院長は、原子力、遺伝子、コンピュータのニューサイエンスは目ざましい進展を遂げているが、それをどう用いて生活に取り込めるかが今後の課題だ、それは基準つまり哲学の問題、新しいプロメテウス(先を考える人)たれと出席した卒業生に祝辞を送った。

続いて壇上に立った内藤頼博桜友会長は、学習院の精神を維持して活躍を、と激励。送辞は宇野真奈美さん(営三)が総代となり、情報化、激動の時代に在学中培った創造力で活躍されるよう期待していると卒業生に送り、最後に但野智さん(法)が新鮮な発想力と柔軟な思考力で時代を切り開くつもりだと謝辞を述べた。

式を終えた学生は、待ちうけた在学生、父兄に祝福され記念会館前は記念撮影をする人たちで賑わった。中央教室で証書を手渡された卒業生は、サークルや教授、学友と最後まで別れを惜しんでいた。

卒業記念祝賀会は同日午後六時二〇分から、帝国ホテル孔雀の間で開催された。学生は約一〇七〇人が参加(参加費一万五千円)、教職員、桜友会、父母会約二〇〇人が招待されて催された。主催した卒業生委員会では、参加者の趣向は毎年変わらないが、昨年ラメ入りのドレスが多かったのに比べると今年は地味、と例年着飾った女性の参加が多い同会の今回の特徴を述べている。

山本コウタロー司会、ゲスト田中康夫で進められた立食形式の同会は歓談する学生ではやいだが、料理は毎年デザートが最初になくなるそうで、今年はケーキが十分もするとなかったとか。女子学生が学生最後の夜と記念撮影を楽しむために美しく装うのに比べ、男子学生は在学中のグループに止まる者が多く、ここでも女性のパワーが見せつけられたようであった。

卒業祝う人垣で賑わう記念会館前（3月20日）

院歌の音頭をとった緒方毅君（右・政卒）

山本コータローに「美しい人が多いですね」と言わせた祝賀会（帝国ホテル　3月20日）

CAMPUS GUIDE

◇美術部「新歓展」
15日(月)～19日(金)、百年記念会館1Fホワイエ。新歓展では、初めての百年記念館での展覧会。盛大にやりますので、是非見に来て下さい。
（中村りえ）

CAMPUS GUIDE募集
学内のサークル・団体・教授主催の各種催物の案内を掲載します。掲載希望は大学新聞社まで。

デスクの片隅

新歓のざわめきも落ち着き、授業の態勢も整ってきました。来年度は新歓日程が大幅に変更される様子で、これを機会に従来の自由で存分に新入生が動き回れる新歓を現実できるように働きかけましょう▼本紙にもウイウイしい(?)新入生が入りました。今後の活躍が期待できます。昨年度の遅れを取り戻せるような紙面を創っていきたいと考えています▼本号では読みものとなるような記事を増やしました。今後は報道と解説を融合させた分かり易い記事のスタイルを目指していきたいと思います。読者の皆さんの御意見をお寄せください▼春闘、私鉄ストは中止になりましたが、スト情報を伝える深夜三時のTV視聴率は7.7%(ニールセン調べ)。情報を一刻でも早くとせかされ寝る間も惜しい現代人は出勤前のニュースで知るのでは遅いのでしょうか。情報という文字が生活を支配します。

壁の穴　ゆであげのオリジナルスパゲッティ　自家製ヨーグルト

【三面つづき】

います。

もう一つ、風俗になるためにはもう一つの段階が必要になるわけです。それは、フォーカスされたことによって二人の関係が非常に公開的になるんですけども、さらにもう一歩進んでその二人の関係が、神話ないし物語として、メディアとその読者によって消費される対象に移行するって言うんでしょうか。そういうことが必要になります。吉本隆明さんの『マス・イメージ論』の言葉で言えばですね、二人の関係が変成するって言うんでしょうか、変わることが必要になってきます。普通ですと変成っていうのは自在感の喪失として現われるわけですけれども、逆に風俗の中では風俗自体が、風俗自体がって言うのもヘンなんですけども、二人の関係が風俗として具体性を失なって、また同時に雑報の性格というのも出来事の方へと引っぱられていく関係の中で風俗として自律していく、つまり風俗になっていくということが言えるわけです。

そのためにはメディアと読者、TVというメディアでしたらその視聴者、それからその出来事の主人公、その三者の共同において一つの物語、あるいは神話が生み出されるわけですが、そのことによって風俗になっていくわけです。

物語とか神話とかって言うのは、とりあえず登場人物たち、つまりここで言えば池田理代子さんそれから松谷蒼一郎氏になるわけですけども、そういう登場人物たちが、聖と俗という性格をこもごもに入れ替わりながら動いていくって言うんでしょうか、そういうことを意味します。

つまりそういう形で二人の関係が、神話的な段階と言うんでしょうか、物語の段階に入っていくことができるわけです。

そうしますとここで生まれてくる問題というのは、個人を主体とした虚構性つまりフィクションの創出とは違って同じフィクションなんですけど、そこで出てくる位相っていうのは、個人のレベルとは違った共同性のレベルとその構造において出来上がっているフィクションである、そういうような虚構性が出てきます。確かにその風俗の中で、ここに出てくる池田理代子さんとか松谷蒼一郎さんとかそういう人たちは、実名で出てくることが風俗の場合一つの約束事になっています。でも、だからと言って全く風俗の中で彼らが具体的な存在として現われているかというとそうではなくて、メディアと読者、及びその出来事の主人公たちの三者の共同による一つの虚構の世界の中で、そこにおいても尚、登場人物たちは実名ないしすでに流布している名前で登場することを強制されているって言うんでしょうか。そういう約束事の上で、風俗の中での立ち居振舞いを演じなければならないということが、風俗の中における物語、あるいは神話というものの一つの特徴になると思うんです。

池田理代子さんという人は自分自身を風俗化するということを、マスコミに向かって二人の関係を語り記録したテープを公開するという形でやります。もう一方で松谷さんは、しばらく沈黙を守っていたんですけど、結局沈黙に耐え切れずに談話や手記を発表し始めます。これは明らかに二人の関係ないし個人がもう変成したからだとしか言えないわけです。言いようがないわけですね。そういう世界へ自分自身を押し上げていくという感じさえあります。

それじゃあ彼ら自身が作者なのかというとそうではなくて、メディアとそれからメディアを視聴するものあるいはメディアを読む読者ですね、そういう人たちとの共同作業において自分たちを風俗へと押し上げていくわけです。そうなりますと風俗というのは結局、その個人、そこに登場する個人、そういう個人個人を越えた彼岸にあるだけじゃなくてもう一つ、今まで述べてきた雑報の彼岸にあり、さらに出来事の彼岸にあり、さらには、全ての共作者って言うんですかメディア、読者、そしてその当事者、そういう人たちの彼岸——手の届かない所に存在する世界というものが見えてくるんじゃないかという気がします。

これを僕らは、他界、共同幻想論の中の言葉を用いて言えば他界というふうに呼ぶことができます。風俗というのは他界だっていうことが言えると思うんです。それがなぜ他界かって言いますと、これもまた論証抜きで言ってしまいますけれど、それは無意識の内の死の衝動が創り上げているからだというふうに言うことができます。つまり無意識の死の衝動は誰が持っているかと言いますと、池田さんであり、松谷さんでありメディアであり、それを消費しようとする読者あるいはそのメディアの視聴者であるということが言えると思います。

どういう所で無意識の死の衝動が現われているかって言いますと、池田さん松谷さんで言えば、自己の意志においてあるいは自己の意志に反して、出来事の具体性というものを虚構性の方に少しずつ売り渡していくって言うんでしょうか。つまり簡単に言えば二人だけの問題っていうのを公開的な場所に売り渡していくっていう所に両者の死の衝動が現われているんじゃないかっていう気がします。それをフォーカスしたカメラマンで言えば、そういった写真を撮りそれを雑誌に売るという行為自体がすでに死の衝動に突き上げられた行動であるというふうに理解すればいいと思います。それからメディア自体っていうのは、本質的に死の衝動を合わせ持っている、それを本質としています。つまり具体的なもの出来事っていうものを、虚構性に転移させるという役割を持っています。そういう意味で本質的にメディアというのは、死の衝動を隠し持っていると言えると思います。

巨大化する死の衝動 「現在という作者」の出現

最後に、それを消費する僕らも虚構性を表出するわけですけれども、そういうこと自体それは、一つ他者への殺意という形で表われてますけども、それは裏返された死の衝動にすぎないんだということが言えるような気がします。

ほぼ結論に近づいたんですけども、風俗を僕らがなぜ取り上げるのかっていうことになりますと、それは現在における風俗が単に、非常に巨大化したっていうこと、現象的にはそうであって、そういう所に僕らの関心が無限に引き寄せられていくっていうことが一つの答えになるんですけど、その根っこにあるものは単に風俗が面白おかしくて、そういうものが僕らにアピールするからっていうだけじゃなくて。それも無視できませんけど、そういうふうに僕らが傾斜していく根底にあるものとして、僕らの内に死の衝動というのが非常に巨大化しているんじゃないかということ。そのことの現われとして風俗の巨大化、そういうものに引き寄せられていく、傾斜していく。そういう内面っていうものを見定めることができるんじゃないかっていう気がします。

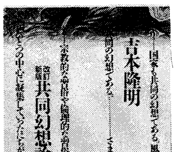
従って、風俗を取り上げるっていうことが実は、僕らの内部で死の衝動っていうものが巨大化している、ムクムクと巨大化し始めている死の衝動と向き合うことになるって言いましょうか。一見風俗という共同幻想には、あたかも具体的な人物が動き、笑い泣いたりしている世界のためにそこに死の衝動が隠されていることが見えないんです。しかし現在の風俗が、生きて動いて、それで僕らを捕えていくということがあるとすればそこに僕らの内に大きくなってきている死の衝動を見定めた方がいいんじゃないかっていう気がします。

『マス・イメージ論』で、マス・イメージ論を書くモチーフとして吉本隆明は、「現在という作者」っていう言葉を言っています。つまり個別的な作者じゃなくて、現在というのが作者になった時この世界はどう見えてくるだろうという捉え方をしているんです。吉本さんは「現在という作者」と述べる時に、その内には僕らが言う死の衝動をですね、そういうものを「現在という作者」の内に託していたというふうに理解することは、それ程間違った理解になるとは思わないと思います。

風俗っていうのは射程ゼロなわけです。そこには何ら歴史もなければ、未来もないわけです。そういう意味で現在そのもの。つまり射程ゼロにおける現在といえます。そういう意味で風俗自体が、現在というものの全体を覆うことはできないと思うんです。しかし現在の一画というものを構成しているということは言えると思います。なぜ現在の一画を構成しているかって言えば巨大な死の衝動っていうものを内在化させているからだ、つまりその解放の場、捌口となっているということそれが風俗であるということです。僕らが現在的な課題として風俗を取り上げる根本的な理由にそれはなっているんじゃないかという気がします。

風俗に捕えられる、というのは従って、非常に巨大なマスとしての死の衝動をイメージできるからだって言うんでしょうか。風俗批評っていうのは、その死の衝動をイメージできるところまで突き抜けていかないと、やっぱり途中で挫折しちゃうんだっていうこと、そういう感じがします。

非常に雑だったんですけども、僕らがなぜ風俗を問題にするかっていうところで、僕らが考える風俗というものに近づきながら答えを、死の衝動とその解放というところにその答えを求めてみたわけです。いろいろ異論はあると思いますけども、それは質問していただいて、また批判していただければいいんじゃないかと思います。これで終わらせてもらいます。



応援します。
素晴らしいカレッジライフを。

東京の学生会館ご紹介

●お問い合わせは各会館へ

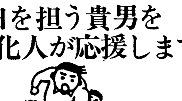
●ご両親に安心していただける明るい環境●
渋谷から20分・豊かな緑にめぐまれた東横線
日吉駅前●どこへ通うにも交通至便
男子学生会館・全館個室1000室・家具付

日吉台学生ハイツ
室料(月)3万1,000円　敷金2ヶ月　礼金2ヶ月
青春の汗を流すアスレチック施設とゆきとどいた共用設備……自習室・大浴室・乾燥室・製図室・写真現像室・英会話室・卓球室・大食堂・売店・自動販売機コーナー・ランドリップショップ・自炊コーナー・ロビー・アスレチック施設・駐車場
●嘱託医(内科・外科)
●カウンセラー
●通学の便は最高です
交通／東横線・地下鉄日比谷線日吉駅前
▶渋谷まで……20分▶御茶ノ水まで40分
▶代々木まで……23分▶銀座まで……40分
▶新宿まで……30分▶田町まで……40分
▶池袋まで……40分
日吉台学生ハイツ・附設
●家庭教師&アルバイト紹介センター●東京学生下宿紹介センター●受験・講習会の宿
☎044(62)1101(代)
お問い合せ先：〒223 横浜市港北区箕輪町13番地

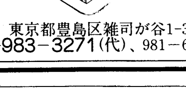
池袋女子学生会館
バス・トイレ・キッチン付個室
学習院大学まで10分
副都心〈池袋〉サンシャインシティービルを背景に映え、大都会のカレッジライフを満喫できます！

交通　(国電)山手線　(地下鉄)丸の内線・有楽町線　(私鉄)東上線・西武池袋線　池袋駅から徒歩4分
〒171東京都豊島区西池袋3-22-8
☎03(982)1751

明日を担う貴男を
先輩文化人が応援します



目白台学生ハイム
男子学生専用・学生会館
菊池寛記念会館
地下鉄(有楽町線)護国寺駅より徒歩5分
手ぶらで来て、その日から生活できます(日常生活の諸設備完備)●専用レストラン・読書室付、カフェテリア・菊池寛記念室 併設●毎日の食事(朝・昼・夕)の食事OK



〒171 東京都豊島区雑司が谷1-32-5
☎03-983-3271(代)、981-6723

装いはホワイト&エレガンスな女子学生会館
クラルテ代々木公園
新宿・渋谷・原宿まで10分
最高の安心環境、
ひとまわり広い贅沢な個室。
●全館個室67室●バス、トイレ、キッチン付付、オール電化システム●24時間給湯●24時間管理体制に加えて、オートロックシステム●防立室あり

59年4月オープン
交通　京王新線初台駅徒歩9分・小田急線代々木八幡駅徒歩9分・千代田線代々木公園駅徒歩10分
お問合せ お申込み　〒151 東京都渋谷区初台2-7-15号　☎03(320)4526